

研修会報告

自然科学書協会と出版梓会の共催による合同研修会が三月一三日（水）十五時三〇分より出版クラブビル四階で開催されました。

紀伊國屋書店学術情報販売促進本部大野繁治氏と ICT 営業本部電子書籍営業部西田和之氏を講師にお迎えし、「学術書電子化の海外動向最前線 日本の取り組みへのヒント」と題してご講演いただきました。

第一部では「電子化で再編進む海外学術出版」として海外の学術出版社や図書館の現状と実情を大野氏に、第二部では「日本の電子書籍はこれから羽ばたく」として現在紀伊國屋書店様に取り組んでいる電子書籍プラットフォーム事業、日本と海外の大学図書館の現状と事例を西田氏にそれぞれお話しいただきました。

冊子から電子へ、コンテンツからツールへ、電子時代の図書館収書ポリシー、教科書の電子化の四つの潮流として海外の現状をご紹介いただきました。また海外の図書館は書籍の置き場所からスペースを提供する場所へと変わりつつあり、紙よりも電子が好まれ、特に雑誌の電子化ニーズが高いということでした。

後半は紀伊國屋書店様の電子書籍プラットフォーム **KinoDen** と **ProQuest** についてご紹介いただきました。また十九年三月に新しいアプリのリリース告知と紙と電子の横断検索や試し読みなど新しい機能の説明がありました。

当協会からは二四社、四〇名（全体で五二社、八九名）の参加、質疑応答を終えて定刻一七時に終了しました。会終了後多くの参加者が講師と名刺交換をされていました。

（研修委員会 山田 貴史）